

# 長野の林業

No.  
398  
2025.3.10

## 特集

トピックス

コラム

地域の話

県森連だより

令和6年度森林フォーラム開催  
長野県ふるさとの森林づくり賞・きのこ料理コンクール表彰式

- ・カラマツ林業等研究会の発表会
- ・林業士リレーコラム
- ・上伊那地域/木曽地域/長野地域

ふるさとの  
山を守ろう  
火の手から

山火事予防運動実施中



【構造部に長野県産材を用いた高層木造建築物：  
フラッツウッズ木場(東京都江東区)】  
設計施工：株式会社竹中工務店



森林フォーラム講演者  
株式会社竹中工務店  
松崎裕之氏

令和7年2月6日(木)に令和6年度森林フォーラムを開催しました。

県産材を用いた高層木造建築物を手掛けられている株式会社竹中工務店の松崎様や、長野県林業大学校学生寮を設計監理された新井建築工房+設計同人NEXTの新井様から、県内外の木造建築に関する最新の情勢と今後の展望を講演いただきました。(詳細は2ページに掲載)



長野の林業  
フルカラー版

## 令和6年度森林フォーラムを開催しました

県と林業関係団体で組織する実行委員会では、昭和62年から、時代の要請を踏まえ、森林・林業の情報を発信し、健全な森林づくりに資することを目的に「森林フォーラム」を開催しています。

今年度のフォーラムは、「新たな県産材の需要創出」をテーマに、令和7年2月6日(木)に会場(塩尻市文化会館レザンホール)とオンラインの併用で開催し、林業・木材産業や木造建築の関係者など約170名に参加いただきました。

最初に、株式会社竹中工務店 参与 木造・木質建築統括、一般社団法人日本ウッドデザイン協会 代表理事の松崎裕之氏から「木造建築の現在地とこれから〜非住宅木造を中心として〜」と題して講演をいただきました。

松崎氏の勤務されている株式会社竹中工務店では、木造建築物への社会ニーズや関心が高まる中、柱や梁といった構造体に木を使う「木造建築」や内装、外装の仕上げに木を使う「木質建築」の取組を積極的に進められています。講演では、法令等の変遷や技術開発の進展の状況を解説いただいた上で、より高層で大規模な建築物でも木造建築が可能となり実際に建築が行われつつあることや、環境配慮やウェルビーイング等の観点から、企業の規模や地域を問わず木造建築のニーズが一層高まっていることをご紹介いただきました。

次に、新井建築工房+設計同人NEXT代表の新井優氏から「運動として地域の木で建築をつくる意味〜長野県林業大学校学生寮の設計監理をとおして〜」と題して講演をいただきました。

新井氏は、平成8年に飯田市において建築設計事務所を設立して以来、地域産材を活用した木造住宅や公共建築物などを数多く設計してこられ、令和4年には、木曾町にある「長野県林業大学校学生寮」を、木曾地域材を活用した木造2階建ての建築物として設計されました。講演では、長野県林業大学校学生寮をはじめ、伊那谷を中心に新井氏が設計した木造建築物の事例を多数ご紹介いただきながら、木造建築をつくる

意義や設計者の観点から木造建築を普及するために必要な取組をご紹介いただきました。  
フォーラムを契機として、今後県内外の木造建築物において県産材の活用が進むことが期待されます。

### 【森林フォーラム実行委員会】



【フォーラム会場】



【会場外での展示】



講演者  
新井建築工房+設計同人NEXT  
新井 優 氏



【長野県林業大学校学生寮】  
設計監理：新井建築工房+設計同人NEXT

# 令和6年度長野県ふるさと森林づくり賞・ きのこ料理コンクール表彰式を開催しました

森林・林業等の健全な発展に対して優れた功績を残された方を称える「長野県ふるさと森林づくり賞」及び、全国一位の生産量を誇る長野県のきのこの消費拡大を図るために行った「長野県きのこ料理コンクール」の合同表彰式を令和7年2月6日(木)に開催しました。

「ふるさとの森林づくり賞」では、最高位賞となる大賞を山行苗木の生産等に携わられてきた『浦野忠雄さん』が受賞されました。浦野さんは、64年の長きにわたって山行苗木の生産に尽力され、後継者の育成や技術継承にも取り組まれており、苗木生産の発展に多大なる貢献をされた功績が称えられ、大賞に輝かれました。

「きのこ料理コンクール」は、本年度応募のあった67作品から、書類審査、実演審査を経て5作品

が選出され、今回表彰された最高位の知事賞は、『渡辺ここみさん』の「きのこ味噌の五平餅」が受賞されました。

また、おなじみを入れた味噌を郷土料理の五平餅とあわせてアイデアと、きのこの風味を生かした調理や味付けが「美味しい」と評価の高い作品でした。

紙面ではお名前のみとなっておりますが、「ふるさとの森林づくり賞」では、計4つの部門から9名(団体)の方が、「きのこ料理コンクール」では4名の方が表彰されましたので、ご紹介させていただきます。

受賞作品のレシピは「クックパッド」長野県公式キッチンに掲載しています。



【森林政策課・信州の木活用課】



ふるさとの森林づくり大賞  
浦野 忠雄 さん(代理)



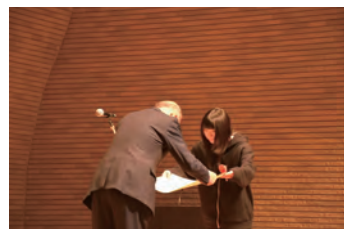
森林づくり推進の部 県知事賞  
木曾漆器工業協同組合



ふるさとの森林づくり賞  
受賞者の皆様

## 長野県ふるさと森林づくり賞及びきのこ料理コンクール受賞者一覧 (敬称略)

きのこ料理コンクール			ふるさとの森林づくり賞												
県特用林産振興会長賞	信州きのこ祭り推進協議会長賞	県知事賞	森林づくり県民税活用の部	信州の木活用推進の部	森林空間の利活用推進の部	森林づくり推進の部			ふるさとの森林づくり大賞						
			県森林組合連合会長賞		県知事賞	県知事賞	県知事賞	県知事賞							
			理事長賞		県木材協同組合連合会	県知事賞	県緑の基金理事長賞	県知事賞							
倉島 穂花	小野 聖七	宮嶋 宏和	西澤 愛芽	渡辺 ここみ	協議会	喬木村伊久間里山整備	天龍村	軽井沢蒸留酒製造株式会社	日野製薬株式会社	伊那市立伊那北小学校 上牧里山づくり	井出 興正	関 仁	宮澤 正行	木曾漆器工業協同組合	浦野 忠雄



きのこ料理コンクール 県知事賞  
渡辺 ここみ さん



信州きのこ祭り推進協議会長賞  
宮嶋 宏和 さん



きのこ料理コンクール  
受賞者の皆様

## カラマツ林業等研究会の発表会を開催しました

カラマツ林業等研究会は、本県を代表する樹種であるカラマツに関する技術開発や普及啓発を進めるため、長野県林務部、中部森林管理局といった行政機関、信州大学、長野県林業総合センターの試験研究機関が連携して昭和54年3月に発足しました。

技術開発を進める中、成果を広く紹介することが重要との考えから昭和57年1月に第1回の発表会を開催、この発表会が好評だったことから以降、継続して発表会を開催しています。

令和6年度の発表会は、令和7年1月10日(金)に長野県総合教育センター講堂で150名の参加者を得て、次の内容で開催しました。(敬称略)

## 天然更新の可能性を探る

「天然更新」による多様な森林づくり(東信署モデル林の紹介)

中部森林管理局東信森林管理署業務グループ 望月 遵、木田和泉

## 「ウヨウゼン」はどこまで造林できるのか

「温帯域の高標高におけるコウヨウゼンの成長速度と生育適地の把握について(経過報告)」

中部森林管理局森林技術・支援センター 田口康宏、大武史弥

## ハナイグチで楽しいカラマツ林に

「カラマツ林におけるハナイグチ増殖のすすめ」

長野県林業総合センター特産部 片桐一弘

## 「もったいない」を無くそう

「林地残材等の未利用木質資源の活用事例について」

長野県林務部県産材利用推進室 笹倉良太

## 広葉樹の構造材利用を目指して

「長野県産広葉樹とスギによる複合集成材の機械的特性」

信州大学大学院総合理工学研究科 齋藤 陽

## 広葉樹トレイづくりの挑戦

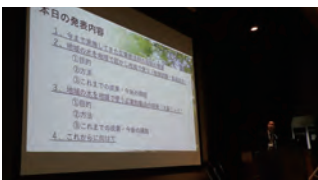
「北アルプス地域振興局における広葉樹活用の取組」

長野県北アルプス地域振興局 山口健太

今回の発表では広葉樹や未利用資源など、活用が期待されている資源に関するものが3課題あり、これらの有効活用を求められていることが感じられました。

今後カラマツ林業等研究会では、長野県林業の課題とも密接に連動しながら、必要な情報を届けてまいります。

【林業総合センター】



上伊那地域

## 森林や木に関するウェブサイト 『きとくらす上伊那』の開設

上伊那の森と木、そこに関わる人たちの魅力をたくさんの方に知ってもらいたい、上伊那の森の恵みをたくさんの人に届けたいという思いから、林業、製材、木工などの事業者や製品を紹介するウェブサイトを開設しました。

地域課題の解決に向けた取組を県民の皆さんにご提案いただく「県民参加型予算」を活用した事業で、管内市町村、上伊那木材協同組合、上伊那森林組合、建築士及び上伊那地域振興局をメンバーとした「上伊那地域材活用促進協議会」を6月に設立しました。上伊那地域から産出される地域材のPR、利用促進を図ることを目的とし、3つの活動を行いました。

① 森の青空市の開催…地域住民に木のぬくもりに直接触れ合ってもらうため、木工体験や木製品の販売を3回実施(箕輪町、飯島町、伊那市)

② ウェブサイトの開設…上伊那の森と木に関わる人たちの情報を集約し、その魅力を広く発信するため「きとくらす上伊那」を開設

③ アンテナショップの開設…伊那市駅前通り沿いのショップに管内の木工事業者の製品やウェブ情報を展示。

下記のQRコードからウェブサイトを見て、上伊那の森林の魅力に触れてみてください。



「きとくらす上伊那」のQRコード



森の青空市(箕輪町)



第1回協議会の様子

【上伊那地域振興局林務課】



木曽地域

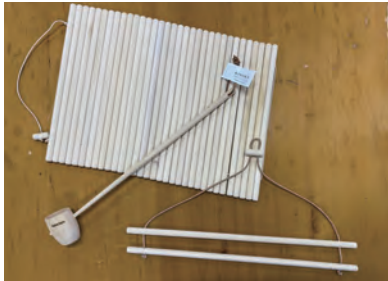
# 「木曽の木のモノプロジェクト」木曽地域材製品・DIYキット開発事業の取組について

木曽地域振興局では本年度、県民参加型予算事業として木曽地域材製品・DIYキット開発事業に取組みました。これは、木曽青峰高校、林業大学校、上松技術専門校の生徒等や地域住民、木材関係業者が協力して木曽地域材を使い新製品やDIYキットを開発することで、林業・木材産業関係の担い手確保に繋げることを目的としています。これまでに商品開発のプロ

やデザイナー等を招き5回の実践スクール型ワークショップを開催し、テーマオーナーとなった木材事業者の特徴を生かし試作品製作を進め、12月開催のウッドコレクション（東京都）や森林フォーラム（塩尻市）に試作品を展示しました。3月にはJR東海の名古屋駅コンコースの一角で試作品の展示や今までお招きした講師との意見交換を行った上で完成品の製作を進め、その後、木曽地域でも作品を展示し成果を披露する予定です。（本事業は本年度スタートした「木曽谷・伊那谷フォレストバレー」の関連プロジェクトです。）



車の輪止め



サウナマット、ラドル、ハンガー



ワークショップの様子

【木曽地域振興局林務課】

長野地域

# 林野火災跡地の松くい虫被害対策

令和5年4月6日、坂城町上平（うわだいら）地区で林野火災が発生しました。その後、現地では松くい虫対策事業等が行われていますので、その状況をご紹介します。

被害を受けた森林は保安林、普通林を含め約13ヘクタールで、大半がアカマツ林であることが判明しました。

焼損し衰弱したアカマツは松くい虫の温床となり、周辺の松林に被害を及ぼす恐れがあるため、松くい虫被害対策（伐倒くん蒸処理等）を実施することとなり、保安林では治山事業により被害木の伐倒くん蒸や筋工による土砂流出防止工事を、普通林では坂城町が松くい虫防除対策事業により被害木の伐倒くん蒸を、相互に連携しながら進めています。

毎年3月から5月は春の山火事予防運動が実施されています。この時期は農作業などが活発化し、また乾燥や強風の生じやすい気候のため、林野火災が多く発生しています。森林はひとたび火災などで失われると、その機能を回復させるまでには多くの時間とコストを要します。長野での火気の取扱いには十分に注意するとともに、山火事予防に御協力をお願いします。



治山事業によるアカマツ林の焼損調査（令和5年5月中旬）  
※樹勢が弱り落葉が目立つ



林野火災発生時の様子（令和5年4月6日）

【長野地域振興局林務課】



このコーナーでは、  
林業士の活動状況などを  
リレー形式でお届け  
していきます

2013年頃から、外堀を徐々に埋められて林業界にやってきました。私自身は林業とは距離のある人生を送ってきたのですが、2015年に祖父から山を引き継いで山主になりました。

林業の事や山林の事、樹木の事など右も左も分からない状況で山主になった事に不安な気持ちも少なからずありましたが、縁のある人たちの多大なるサポートのおかげで山を引き継げたと思っています。



伐採した木の枝先まで有効活用したいと産み出された「駄木工」



広がる駄木工の輪

あくまでしががない山主の一人で、山のほとりで暮らし、山林に生かされている身だと思つて生活しており、「運」と「縁」に恵まれ何とか死なずにこれら現在に至ってきました。大切なのは「死なずに生き続けられること」だと考えているのでそんな山主としての思いを紹介できたらと思います。

先述の通り、私は外堀を埋められて林業界へ足を踏み入れてきたわけですが、いざ山主になって山林と向き合ってみて感じたのは、山林や林業には大きな可能性と希望しかないという事です。そのよな中、伐採した木の有効活用を考えた末のアイデアが「駄木工」で、山から生まれた素材を最大限活かすべく取り組んでいます。

林業界には川上、川中、川下と表現される括りがあり、この括りでは山主は川上になる訳ですが、これに違和感を覚えた林業関係者の友人は「山主は『川上』の先の『源流』なのではないか」と説いていました。

そんな山主は一方では、林業界の課題の多さからかネガティブな要素が影響して閉塞感や違和感があるように思えます。また山主とはある意味で呪われた存在であり、とらわれているとも感じています。山林を所有することが負担になっていて、下を向きがちな山主が多くいる気がするのです。

山主の置かれた難しい状況が少しでも変わる事を願い、一つの事例としての生き方を示すことができれば良いと考え活動しています。山に愛着を持って楽しみながら、面白く暮らし、山があれば生きていけるんだと実践していれば、若い世代へも何か伝えることができているのではないかと思います。「山林と共生し続ける」ことに誇りを持ち、希望を持って次世代へ繋げていけるよう、山主に希望の光を見せたいと思います。



駄木工  
についてはこちら

限りある所有林で林業を持続的に行うためには、やるべきことが本当に多く、試行錯誤を重ねながら素敵な山を残すべく日々考えています。

### プロフィール

荒山 雄大(あらやま ゆうた)  
B型/おとめ座/大町市出身

徐々に外堀りを埋められ30代のときに祖父から山と家を継ぐことを決意。屋号の荒山林業を継承し、木崎湖畔にある持ち山で楽しむ林業をモットーに暮らす



### 林業士とは？

地域の森林林業現場で主体的に活動する方を増やし、林業の活性化を図るために昭和48年から長野県が認定しているもので、県下各地で「地域林業の中核的人材」として活躍しています。



# 「緑の募金」にご協力をお願いします

緑化推進特別強調期間 令和7年4月1日(火)～5月31日(土)



「緑の募金」は、だれでも寄附を通じて、身近な地域をはじめ国内外の様々な森林づくりや緑化推進、自然環境教育に参加することができる仕組みです。



長野スタジアムでの街頭募金活動

令和6年の募金額は、5,441万9,132円でした。ご協力ありがとうございました。ご寄附いただいた緑の募金は、里山の手入れ、学校・公園等の緑化、みどりの少年団の育成などに活用させていただきます。



地区の植樹祭で小学生が広葉樹を植樹しました



身近な里山で、伐採したベンチ用の木を小学生等が運び出しました

## 新刊絵本のご紹介

### 絵本「木が伝えてくれる物語」シリーズ10

森のくまさん 北アルプスのたび①の続編が遂に発刊となります！

タイトルは “**森のくまさん 北アルプスのたび②**” 1冊 1,200円(税込み)



常念岳とチューリップ

最新刊 2025年3月25日

「森のくまさん」第5弾！！

森のくまさんと子どもたちの体験や、いろいろな出会いを通じて、子どもたちの心に命を育む森林の大切さや、思いやりの愛の芽が生まれますように。

森のくまさんと一緒に、北アルプスのたびをお楽しみください！

## 緑の募金で進めようSDGs 「緑の募金にご協力を！」

公益財団法人長野県緑の基金 <https://www.midori-joho.gr.jp> ☒e-mail green@midori-joho.gr.jp

長野市大字南長野字幅下 692-2(長野県庁 6F 林務部森林づくり推進課内) 電話 026-232-0111(内線 4818.4819)



長野県労働局長登録教習機関 長野県知事認定職業能力開発校

# 一般社団法人 中部労働技能教習センター

労働安全衛生法に基づく資格取得講習を実施しています

## 未来に活かせるライセンス

### 51年の歴史と33万人の実績

中部労働技能教習センターは、昭和49年の設立以来、常設の多目的教習機関としてクレーン及び移動式クレーンの実技教習並びに車両系建設機械、小型移動式クレーン、フォークリフトなど、各種技能講習および特別教育の資格取得講習を実施しています。

受講しやすいきめ細かな年間計画により、どなたでも運転資格等が取得できるように、経験豊かな講師陣がお待ちしています。

### 当センターで取得できる主な資格

#### 実技教習（免許教習）

- ・クレーン・デリック運転士免許
- ・移動式クレーン運転士免許

#### 技能講習

- ・車両系建設機械（整地等）運転
- ・車両系建設機械（解体用）運転
- ・車両系建設機械（基礎工事用）運転
- ・不整地運搬車運転
- ・高所作業車運転
- ・小型移動式クレーン運転
- ・床上操作式クレーン運転
- ・玉掛け
- ・フォークリフト運転
- ・ショベルローダー等運転
- ・はい作業主任者

#### 特別教育

- ・クレーン運転
- ・小型車両系建設機械（整地等）運転
- ・ローラー運転
- ・高所作業車運転
- ・フォークリフト運転
- ・巻上げ機（ウインチ）運転
- ・ロープ高所作業
- ・フルハーネス型墜落制止用器具



< 長野県下、4会場で講習を実施しています >

※実施会場が限られている種目があります。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

飯田会場 / 〒395-0154 長野県飯田市下殿岡478-1  
 (本部) <https://www.ginosenta.or.jp>  
 E-mail: info@ginosenta.or.jp

☎ 0265-25-4444 FAX 0265-25-4455

中部労働技能教習センター 🔍



長野会場 / 〒381-1225 長野市松代町東寺尾2681-3  
 松本会場 / 〒390-0851 松本市大字島内(小宮)729-1  
 佐久会場 / 〒385-0032 佐久市常和1353-1-13

FAX 026-278-9255  
 FAX 0263-47-4443  
 FAX 0267-78-3935

Webサイト



系統利用  
優良森林組合

【木材販売事業】  
松本・上伊那・北アルプス  
長野・北信州

【購買事業】  
信州・上野・飯伊  
長野・上伊那



令和7年度  
長野県森林組合連合会  
通常総会

長野県森林組合連合会の第88回通常総会が、令和7年2月28日に長野県林業センタービル（長野市）にて、来賓・会員の皆様に多数出席を賜り、開催されました。当日は、森林組合綱領の唱和、林副会長の開会に続き、藤原会長による挨拶が行われ、ご来賓の皆様からそれぞれ祝辞をいただきました。議事は、佐久森林組合の小島代表理事専務を議長に、第1号議案・令和6年度事業報告等に始まり、第8号議案まで審議の上、原案どおり承認・決定されました。また、閉会後には系統利用優良森林組合への感謝状贈呈及び永年勤続職員表彰（専任職員21名、技能職員37名）が行われました。



▲藤原会長による挨拶



▲議事の様子

令和6年度 事業報告

令和6年度は、元旦の能登半島地震に始まり、異常気象とも言える猛暑や豪雨・台風災害が発生し、地球温暖化防止や山地災害防止等の森林の持つ公益的機能を維持発揮させることの重要性を再認識する一年でした。

指導事業では、森林組合の経営力向上等を目的に各種研修会の開催や情報提供に努めるほか、年度途中で表面化した森林整備補助金執行額の不足に対し緊急の要望活動を行いました。

販売事業では、大型工場の減産体制は依然として続き、運送コスト増など大変厳しい状況にありましたが、森林組合と協力しながら木材価格維持に務めた結果、年間取扱量は19万5千㎡、取扱高は28億円となりました。加工事業は土木工事向けの需要は減少の中、計画通りの結果となりました。

令和5年に民事再生手続の申立てがなされた征矢野建材(株)に関しては、当会への債務に関する手続きは全て終了し、事業継承した綿平建材(株)と新たなサプライチェーンの構築を目指すこととなりました。

各森林組合との連携強化を目的に組合長会議を開催したほか、人材確保に向け就職情報サイトの活用をスタートしました。事業全体では、取扱高31億円、経常利益はおよそ64百万円となりました。

令和7年度 事業計画

本年は、木材需要の低迷、諸物価の高騰や人材不足など林業・木材産業を取り巻く厳しい状況は続くことが予想される一方、長野県民有林人工林の約8割が50年生を超え利用期を迎えており、円安による輸入材価格の上昇や公共建築物等の木材活用の拡大など、県産材の需要拡大を進める好機と捉え、様々な事業を展開してまいります。健全で開かれた組合経営のもと、会員組合の事業が充実するよう組合からの要望等を踏まえ研修会や指導監査を行うほか、各種情報提供、相談業務に努めます。また、森林組合系統を取り巻く様々な課題の解決に向けて、国、県や県議会等へ要望活動を積極的に行ってまいります。

木材の市場価値が高まるよう生産者への助言等を行うほか、会員、他県森連との連携等を通じて有利販売に努め、会員への経済的還元を図ります。また、林地残材を含む未利用木材資源等の安定的・効率的な供給体制の実現に向け新たなサプライチェーンの構築を目指します。

普及が進む林業ICT技術への支援を引き続き行い、会員全体の技術向上や省力化と機器の回転を進めます。林業、森林組合の発展や森林整備の充実につなげるよう努めてまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。



# IYC2025

## 持続可能な地域社会づくりについて、 協同組合ができることは？

長野県協同組合連絡会  
職員交流集会



▲▼各グループで議論した持続可能な地域社会づくりについて発表した



れ、協同組合の定義・価値・原則をおさらいし、国内農林水産産出額の半分超が農協や漁協、森林組合など協同組合を通じて出荷・販売されていることや、組合員が利用できる協同組合の施設数がコンビニ大手2社の出店数に匹敵するなど、我が国における協同組合の規模感から社会における協同組合のあり方や活動に

2025年2月20日、長野市生涯学習センター4階大会議室にて、「IYC2025 持続可能な地域社会づくりについて、協同組合とともに考える交流会」が開催されました。長野県内の協同組合間の連携と理解を深めることを目的に毎年開催されてきた「協同組合職員交流会」を、今回は、本年が2回目となった国際協同組合年（※次ページで詳しく解説しています。）をテーマに設定し、県内

の12協同組合団体と7福祉関係団体、県職員など45名が参加しました。前半に、(一社)日本協同組合連携機構(JCA)の協同組合連携1部横溝大介部長と協同組合連携2部小島愛美連携推進マネージャーから「協同組合ってなあに?」と題し講演が行われ、1995年に国際協同組合連盟(ICCA)が定めた「協同組合のアイデンティティに関するICCA声明」に触



▲講演するJCAの横溝部長(左)と小島マネージャー

ついて学びました。また、国連によって国際協同組合年が再び設定された経緯やグテーレス国連事務総長の協同組合へ向けたメッセージを紹介し、SDGs達成に向けた国際社会からの期待や世界や日本国内各地での協同組合連携の事例の紹介がありました。各組織の活動の中で、

IYC2025について学び、実践し、関わり合う方々や一般市民に広く協同組合運動やIYC2025の意義について発信することがこの一年で重要であることがわかりました。後半は「持続可能な地域社会に向けて、私達にでき

ることを考える」をテーマに、グループワークを行いました。それぞれの組織が抱える課題として、高齢化や人口減少に起因する、労働者の担い手不足や地域社会の弱体化、経済格差の拡大が挙げられ、解決し持続可能な地域社会の実現に向けて、福利厚生への発信や支援など、各協同組合でできることをそれぞれ出し合いました。

対話する中で、それぞれの現場で携わる分野や視野の違いや共通項が見え、特に、森林・林業については、他の参加者に改めて社会との関係性を認識されるなど刺激を受け、交流会だけでなく普段の業務から、協同組合間連携を活かした取り組みを意識したいと感じました。

最後に各グループで発表し、交流会は活況のうちに閉会しました。



▲参加した各団体が持ち寄ったパンフレット  
長野県でも多くの協同組合が、第一次産業や金融、福祉など社会の様々な場面で活躍している

# ご存知ですか？ 今年は！



## 国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

### はんだ。

2025年は国際協同組合年です

国際年をご存じですか。国連は1957年を国際地球観測年と定めたことをスタートに毎年何らかの「国際年」を設けています。これは、世界に共通する重要テーマについて、各国や世界全体が1年間を通じて呼びかけや対策を行おうとするものです。

こうした中で、2025年は、「国際協同組合年（IYC）」と定められました。協同組合をもっと盛んにして、SDGs（持続可能な開発目標）（※）をもっと現実のものとするために、国連は協同組合を評価、重視し、期待を寄せていることから、2012年に続いて、2回目となりました。また、国連と歩調を合わせて、世界各国の政府や協同組合に、国際協同組合年を活用することを求めています。

日本国内の協同組合においても事業・活動をさらに発展させ、協同組合に対する認知度を高めていく絶好の機会と捉え、政府や関係者の方々と協力しながら、この機会を活かしていきたいと考えています。

※SDGs（Sustainable Development Goals）は、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「持続可能な開発目標」です。キーワードは「Leave No One Behind（誰一人取り残さない）」。2030年を期限とする世界共通の17の目標を設定して、貧困や飢餓、暴力を撲滅し、地球環境を壊さずに経済を持続可能な形で発展させ、人権が守られている世界を実現することを目指しています。

世界、そして日本の協同組合

我々、森林組合系統も含む「協同組合」は世界中に存在します。世界の協同組合の連合組織である「国際協同組合同盟（ICA）」には百力国の協同組合組織が加盟し、その加盟組織の組合員総数は延べ10億人を超えます。国による制度の違いはありますが、それぞれの協同組合は、協同組合の世界共通のルールである「協同組合のアイデンティティに関するICA声明」にのっとった運営を行っています。現代につながる生協はイギリス、農村・都市部の信用組合（銀行）はドイツ、デンマークの酪農協同組合やフランスの労働者協同組合など、協同組合の多くは、19世紀半ばのヨーロッパで誕生しています。いずれも産業革命が進み、資本家と労働者という階級格差、都市と農村という地域格差が生まれる中で、一人ひとり弱い立場の人々が連帯してより良い生活や仕事を求めて協同組合が組織されました。

我が国では、大正に入り、協同組合運動の父と呼ばれた賀川豊彦が、貧しい人々の救済のため労働運動、農民運動、普通選挙運動など社会改革運動を推進し、神戸購買組合を設立しました。1900年の産業組合法成立を契機に個別協同組合法が順次制定され、現在は全国に約4万1千組織まで拡大しています。（2021年事業年度版協同組合統計表）

協同組合を学び、事業や活動を実践し、発信しませんか

これまでもこれからも、協同組合のことを広く知る、知ってもらうことが大切にして共感や信頼につながることを大切にします。今こそ、次のような3つのステップで、協同組合を学び、事業や活動を実践し、さらにこれを発信しませんか。

1. 学んでみよう  
（1）国際協同組合年について学び、共有してみよう  
（2）協同組合とは何か、何を大切にしているか、どのように運営するか、あらためて協同組合らしさ（協同組合のアイデンティティ）を学ぼう
2. 実践してみよう  
みんなで話し合い、つながりの輪を広げ、できることから始めてみよう
3. 発信してみよう  
学んだこと、実践していることを発信してみよう。発信することで知ってもらい、地域のつながりの輪を広げよう。



▲日本協同組合連携機構（JCA）国際協同組合年特設ページでは、協同組合について学べるコンテンツや情報発信をしています。上のQRコードから、ぜひアクセスしてみてください♪



# 希望の芽 緑と一緒に 創る未来

令和7年  
国土緑化運動標語

一般社団法人

## 長野県林業センター

理事長 藤原 忠彦 副理事長 水本 豪  
副理事長 宮崎 正毅 常務理事 宮 宣敏

## 長野県森林組合連合会

代表理事会長 藤原 忠彦 副会長理事 林 和弘  
代表理事専務 村松 敏伸

## 長野県林業団体協議会

会長 村松 敏伸 副会長 藤原 忠彦  
副会長 宮崎 正毅 副会長 水本 豪

## 長野県木材協同組合連合会

理事長 宮崎 正毅 副理事長 麥島 照幸  
副理事長 佐原 良彦 副理事長 峯村 宗次  
副理事長 澤柳 浩成 専務理事 柴田 昌志  
副理事長 新井 藤弘 事務局長 松本 寿弘

## 林業・木材製造業 労働災害防止協会 長野県支部

支部長 宮崎 正毅 幹事長 柴田 昌志  
副支部長 村松 敏伸 事務局長 田中裕二郎

## 信州木材認証製品センター

理事長 宮崎 正毅  
副理事長 鈴木 吉明 専務理事 柴田 昌志  
副理事長 村松 敏伸 事務局長 松本 寿弘

一般財団法人

## 長野県林業労働財団 長野県林業労働力確保支援センター

理事長 丸山 勝規

“森林・林業の総合アドバイザー”

一般社団法人

## 長野県林業コンサルタント協会

理事長 羽田 健一郎

## 長野県治山林道協会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

## 長野県林業普及協会

会長 林 和弘

## 長野県山林種苗協同組合

理事長 神戸 直日

## 長野県水源林造林協議会

会長 白鳥 孝

## 長野県造林協会

会長 藤原 忠彦

## 長野県林業薬剤防除協会

会長 牧 司



私達も緑化推進運動に協力しています。



# 君の手で 育てて広げる 豊かな緑

令和7年  
育樹運動標語

損害保険代理店・環境事業計画施工・墓石

## 株式会社 モリレン長野

## 宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮澤 遙

## 佐久森林林業振興会

役職員一同

## 上小林業振興会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

## 諏訪地域<sup>もり</sup>森林づくり ・林業振興会

役職員一同

## 上伊那山林協会

役職員一同

## 下伊那山林協会

役職員一同

## 木曾山林協会

役職員一同

## 松本地域森林林業振興会

役職員一同

## 齋藤木材工業株式会社

代表取締役社長 齋藤 健  
小県郡長和町古町 4294

## 長野国有林森林整備協会

会長 由井 正隆  
副会長 林 和弘  
専務理事 酒井 省三

長野市大字稲葉字母袋沖 612-2 ☎026-285-9070

## 日本林業土木株式会社

長野出張所 所長 木村 敏宏  
長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-227-6185

 一般社団法人

## 日本森林技術協会

長野事務所 所長 油井 章次郎  
長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-217-2660

## 株式会社 吉 本

代表取締役 由井 正宏  
南佐久郡佐久穂町大字平林 121



# 希望の芽 緑と一緒に 創る未来

令和7年  
国土緑化運動標語

## 信濃化学工業株式会社

代表取締役社長 小野 大輔  
長野市桐原 1-2-12

## 瑞穂木材株式会社

代表取締役 宮崎 正毅  
下高井郡木島平穂高 3228-1

## 有限会社 高遠興産

代表取締役 林 敏行  
伊那市山寺 1558-1

## 平澤林産有限会社

代表取締役 平澤 照雄  
伊那市西春近 4105

## 南佐久北部森林組合

代表理事 佐々木 勝 役職員一同  
組合長

## 南佐久中部森林組合

代表理事 黒澤 和夫 役職員一同  
組合長

レストラン 四季の味 樹木里

## 南佐久南部森林組合

代表理事 由井 明彦 役職員一同  
組合長

緑を育て山を守る

## 佐久森林組合

代表理事 山岸 喜昭 役職員一同  
組合長

緑の担い手

## 信州上小森林組合

代表理事 石井 公彦 役職員一同  
組合長

## 諏訪森林組合

代表理事 藤森 良隆 役職員一同  
組合長



もりもり上伊那

## 上伊那森林組合

代表理事 白鳥 孝 役職員一同  
組合長



## 飯伊森林組合

代表理事 林 和弘 代表理事 吉澤 悦史  
組合長 常務 役職員一同

信州根羽すぎ・根羽ひのき

## 根羽村森林組合

代表理事 大久保 憲一 役職員一同  
組合長

## 和合森林組合

代表理事 村澤 博光 役職員一同  
組合長



私達も緑化推進運動に協力しています。



# 君の手で育てて広げる 豊かな緑

令和7年  
育樹運動標語

## 木曾南部森林組合

代表理事 坂家 重吉 役職員一同  
組合長

## 南木曾町森林組合

代表理事 堀 賢介 役職員一同  
組合長

## 松本広域森林組合

代表理事 吉田 満男 役職員一同  
組合長

## みどり産業株式会社

代表取締役 篠原 明  
本社 長野市稲葉2413-3 ☎026-224-8708

## 北信州森林組合

代表理事 山崎 明 役職員一同  
組合長

## 長野森林組合

代表理事 和田 智 役職員一同  
組合長

## 南安曇木材協同組合

組合理事長 佐原 良彦  
安曇野市穂高 7940 番地 27

## 栄村森林組合

代表理事 久保田 道一 役職員一同  
組合長

## 木曾官材市売協同組合

理事長 勝野 智明

## 木曾森林組合

代表理事 原 久仁男 役職員一同  
組合長

カラ松日本一を目指します



### 東信木材センター協同組合連合会

小諸市甲字鞍掛 4747 電話 0267-23-0887  
FAX 0267-22-1293

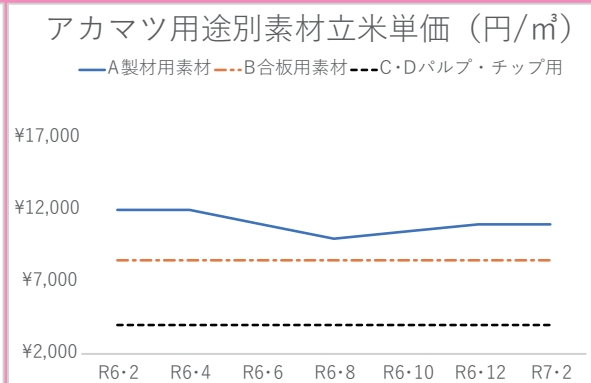
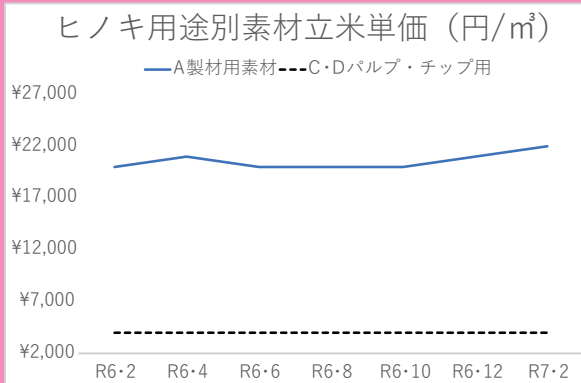
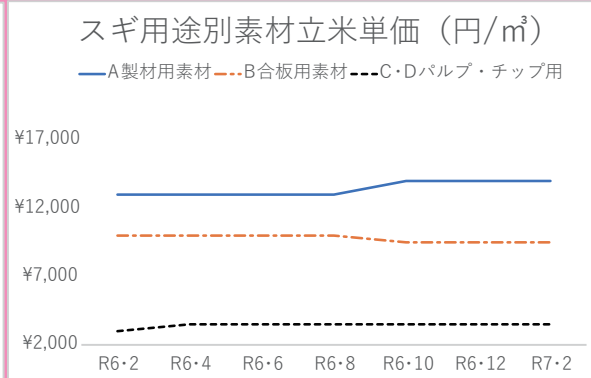
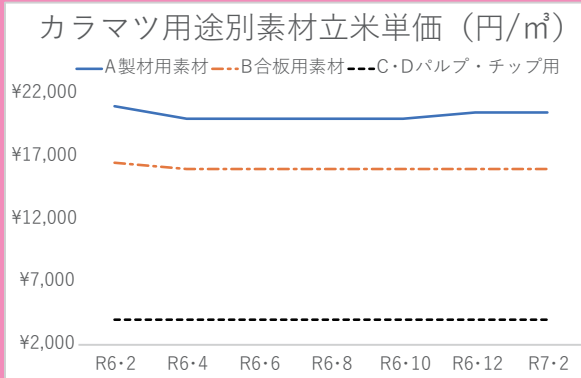
## 信州の木認証合板で 地産地消の緑の循環



針葉樹合板のパイオニア  
林ベニヤ産業株式会社

(本社) 06-6228-1401  
(七尾工場) 0767-52-4376  
(舞鶴工場) 0773-68-0306  
(北陸営業所) 0767-52-4376

# JForest 長野県の木材市況



※北信、中信、伊那木材センターの市況表より作成

強い冬の気圧配置が続き、地域によってはここ数年にない大雪となった厳冬の中、各木材センターへ多くの出品をいただきありがとうございました。

北信木材センターと中信木材センターでは、「広葉樹祭り」を開催し、広葉樹の良材が並び、伊那木材センターでは、高齢級ヒノキをはじめとした良材が多数出品され、高値続出の大変賑やかな市売りとなりました。

本格的な需要期を迎えた広葉樹は各種樹種共に引き合いが活発で、中信木材センターではクリ、ナラの出品が多く、ナラは細材から大径材まで引き合い活発で充実した市売りとなりました。北信木材センターでは、特にクルミやホオの大径材やサクラ・ナラなどの良質材に高値が見られました。各木材センターでは、市況を見ながら需要に合わせた仕分け・はい積みをしてまいりますので、これから伐採、出材を計画されている方はご相談ください。引き続き集荷のご協力よろしくお願いいたします。

【当連合会は合法木材に取り組んでおります】

合法木材供給事業者の認定を取得したうえで、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号及び伐採地と伐採箇所が記載された納品書及び伐採届の提出をお願いします。※安全のため、木材センターでの荷下ろし・積み込みの際には車止めの使用とヘルメットの着用をよろしくお願いいたします。



▲北信木材センターに出品されたホオ

【長野の林業 397 号の紙面訂正とお詫び】  
県森連だより 10 ページにて、伊那木材センター出品の「元玉ヒノキ 4.0m (末口 26cm)」となっていたが誤りで、正しくは「元玉ヒノキ 4.0m (末口 50cm)」であり、お詫びいたします。



長野県森連

県森連 HP では市況情報を写真付きで随時更新しております！

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください！

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪